Ｐ － Ｓｉｇｎ

PST－R
PST－O
PSY－R
PSY－O

民需ディスプレイ 取り扱い説明書

Ｌ Ｅ Ｄ式４文字表示器 『Ｐ－Ｓｉｇｎ』をお買いあげ頂き、まことに有り難うございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。
尚、お読みになったあとも大切に保管下さい。

株式会社 キタムラ産業

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでもみられるところに必ず保管してください。

①火災ややけどの恐れがあります。
電源プラグ及び電源コードが傷んだり、傷ついたりした場合、そのまま使用せずに修理、交換をしてください。

②取付などのため筐体部分の加工等、いかなる場合にも改造・分解はしないでください。

③破損の恐れがあります。
本装置は、日本国内で、ＡＣ１００Ｖでの使用に限定ください。また、ＡＣ１００Ｖの発電機で使用の場合は、本器の電源プラグを抜いた状態で発電機を起動してください。

工場内成績書

検　査　項　目	検査結果	検査員
①AC100Vの入力条件で、内部電源の出力電圧は5V±0.3V以内	4.95V/合格	森田
②ﾃｽﾄﾊﾟﾀｰﾝでの点灯検査で動作上に問題がないか	問題無/合格	森田
③ﾃｽﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑでﾊﾟｿｺﾝとのﾃﾞｰﾀ通信に異常がないか	問題無/合格	森田
④ﾒｯｾｰｼﾞが間違いなく設定されているか	問題無/合格	森田

ﾊｰﾄﾞｳｴｱｰ保証書

本装置は、弊社検査基準に合格したことを証明します
製造番号は筐体内ﾒｯｾｰｼﾞＲＯＭ上に記載しています。

保証期間：お買上月より12ヶ月間有効です　**製造番号：　000000**

販売店様へ：お客様に商品をお渡しする際は必ず販売日・貴店名・住所・電話番号をご記入しご捺印下さい。

販売店	ご購入日	
	住所・店名	印
	電話番号	（　　）　　－
お客様	ふりがな	
	お名前	
	電話番号	（　　）　　－
	ご住所	

お客様欄は楷書で明確にご記入下さい。記入漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられない場合がありますのでご注意下さい。
また、本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求め販売店、または弊社営業所にご依頼下さい。

株式会社 キタムラ産業

目　　次

表　紙 ---------- 1

目　次 ---------- 2

1．装置の概要 ---------- 3

2．仕　　様 ---------- 3

3．各部の説明 ---------- 4

4．操作方法 ---------- 5

5．外　　観 ---------- 6

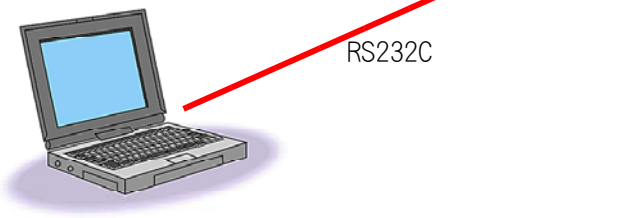
４文字表示器　【P-Sign】取扱説明書

１．装置の概要（本説明書は縦表示でご使用になる場合を想定しています）

本装置は、チップタイプＬＥＤを１０２４個使用した　４文字表示器です。
装置の構成は次のようになります。

使用例 1)事前にメッセージを表示器に記憶させて
おき表示器単独で表示する

使用例 2)パソコンでメッセージを任意に作成し
RS232Cで通信し表示する
使用例 2)はオプション



２．仕　　様

①表示　　：４文字表示
表示方向はスイッチによる　縦　または　横の切替可能
②ＬＥＤ使用数　：１０２４個

③メッセージ数　：出荷時の事前登録メッセージ数：１０メッセージ
パソコンでの編集メッセージ数：１０メッセージ（プログラムを購入する必要があります）

④メッセージ動作　：点滅動作
（点灯表示　その後　0.5秒間消灯　次の表示へ引き継ぐ）

点灯動作
（点灯表示　その後　次の表示へ引き継ぐ）

左流動動作
（縦型表示の場合は　表示内容が下から上へとｽｸﾛｰﾙ表示）
（横型表示の場合は　表示内容が右から左へとｽｸﾛｰﾙ表示）

右流動動作
（縦型表示の場合は　表示内容が上から下へとｽｸﾛｰﾙ表示）
（横型表示の場合は　表示内容が左から右へとｽｸﾛｰﾙ表示）

⑤１メッセージ　：１メッセージは　上記４動作を組み合わせる事が可能、
最大１６０文字を表示

⑥メッセージ速度　：0.5秒　1.0秒　1.5秒　2.0秒　2.5秒　3.0秒　3.5秒
（点滅・点灯動作　　：ﾒｯｾｰｼﾞが点灯する時間）
（左流動・右流動動作：文字が１文字分ｽｸﾛｰﾙする時間）

⑦表示メッセージ　：漢字　数字　ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　ｶﾀｶﾅ　ひらかな　記号　ﾕｰｻﾞ作成ﾛｺﾞ

3.各部の説明

3.1 正面

①表示面・・・ﾁｯﾌﾟLEDを1024個使用した４桁文字表示器
画面サイズは 520mm×135mm

②ｽﾀﾝﾄﾞ・・・ 本器専用ｽﾀﾝﾄﾞ
38mmのﾊﾟｲﾌﾟで本体に取り付け

図３－１　外観写真

3.2 背面(ｺﾞﾑﾌﾞｯｼｭを外して下さい)

①ﾒｯｾｰｼﾞ選択部 ・・・・ﾒｯｾｰｼﾞの選択　及び　縦横の切り
替えを行います。

②ﾊﾟｿｺﾝ通信用端子・・・付属のRS232Cのｺｰﾄﾞを取り付けます。

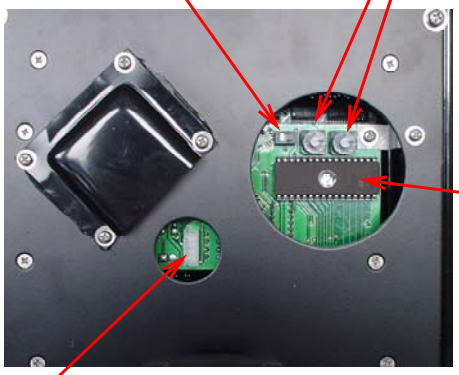


図３－２　背面接続箇所

4. 操作説明

4.1 スタンドの設置

付属のＭ８の飾りボルトで取り付けます。

写真４－１表示部組み立て

4.2 電源を入れる前の本体の設定

【ﾒｯｾｰｼﾞ 番号の選択】

本表示器は、出荷時にあらかじめメッセージを決め、ＲＯＭに記憶させる【ROM書込ﾒｯｾｰｼﾞ】表示と、ユーザーがパソコンで任意にメッセージを編集し、パソコンと本体との通信することにより表示させる　【ﾊﾟｿｺﾝ製作ﾒｯｾｰｼﾞ】があります。

①写真４－２において、表示ﾒｯｾｰｼﾞが　ﾊﾟｿｺﾝ製作ﾒｯｾｰｼﾞか　ROM書込ﾒｯｾｰｼﾞかを選択します。

ROM書込ﾒｯｾｰｼﾞの場合は、ｽｲｯﾁ左の番号を【０】にします。
ﾊﾟｿｺﾝ製作ﾒｯｾｰｼﾞの場合は、ｽｲｯﾁ左の番号を　【１】にします。

②写真４－１において、表示ﾒｯｾｰｼﾞの登録番号を選択します。

ﾒｯｾｰｼﾞ番号は【０～９】にします。

【表示方向の選択】

③写真のように　縦表示か横表示かを縦横切替スイッチで選択します。
縦で使用する場合は縦表示方向に　横で使用する場合は横表示方向に切替ｽｲｯﾁを倒します。（写真左）

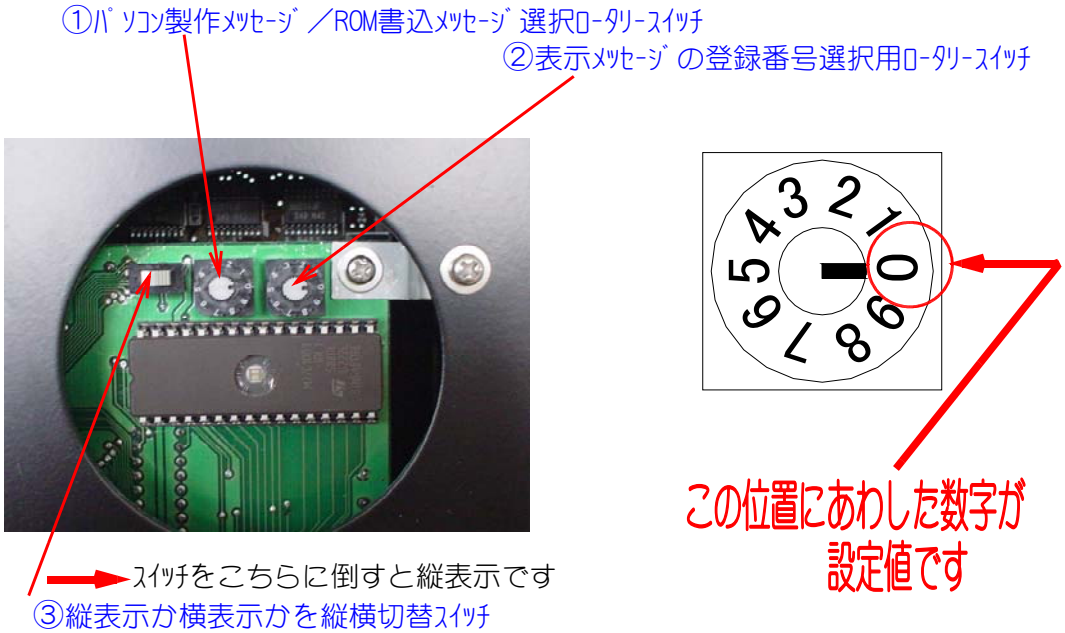


写真４－２　縦で使用した場合の各部品構成位置

4.3 電源の接続

電源ケーブルをＡＣ１００Ｖに接続します。数秒後　ﾒｯｾｰｼﾞが表示されます。
また、ﾒｯｾｰｼﾞの変更　及び　縦横表示の変更は、本表示器が動作中でも順次行うことができます。この場合ﾒｯｾｰｼﾞは、前回指定ﾒｯｾｰｼﾞが表示し終えた後変更することになります。

4.4 ﾒｯｾｰｼﾞの変更

図３-２　背面接続箇所　における　ﾊﾟｿｺﾝ通信用端子に付属の　ＲＳ２３２Ｃケーブルを接続します。
基板コネクターに　しっかりと差し込みます。
ケーブルをお手持ちのパソコンのシリアルインターフェース（ＲＳ２３２Ｃ）に接続します。
コネクターはd-sub9ﾋﾟﾝを使用していますので、それ以外（ＵＳＢ）などで使用する場合は、変換装置をご使用ください。

ﾊﾟｿｺﾝ上の操作手順は、メッセージ編集プログラム操作説明書を参照ください。

５.外観